
第78回
静岡県中学校総合体育大会
(兼全国中学校体育大会予選会
東海中学校総合体育大会)

要 項



期 日 令和7年6月15日～8月1日
11月3日

会 場 静岡県下各会場
主 催 静岡県中学校体育連盟
静岡県教育委員会
静岡県関係各競技団体
後 援 静岡新聞社・静岡放送
(公財)静岡県スポーツ協会

<http://www.scyuuta.com/>

No.	競 技		1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		6 位		7 位		8 位	
			校 名	支 部	校 名	支 部	校 名	支 部	校 名	支 部	校 名	支 部	校 名	支 部	校 名	支 部	校 名	支 部
1	バレーボール	男																
		女																
2	卓 球	男																
		女																
3	柔 道	男																
		女																
4	陸 上 競 技	男																
		女																
5	バスケットボール	男																
		女																
6	サ ッ カ ー																	
7	ハンドボール	男																
		女																
8	ソ フ ト ボ ー ル																	
9	軟 式 野 球																	
10	ソフトテニス	男																
		女																
11	剣 道	男																
		女																
12	体 操 新 体 操	女																
		男																
		女																
13	バドミントン	男																
		女																
14	相 撲																	
15	水 泳	男																
		女																
16	駅 伝	男																
		女																
17	テ ニ ス	男																
		女																

<教育長杯得点> 24チーム以上参加の場合:1位－8点 2位－7点 3位－6点 4位－5点 5位－4点 6位－3点 7位－2点 8位－1点
 8チーム以上23チーム以下の場合:1位－4点 2位－3点 3位－2点 4位－1点
 7チーム以下となった場合:1位の得点は参加チーム数を2で割った数(小数点以下切り捨て)とし、以下1点ずつ減ることとする。
 6～7チームでトーナメント戦の場合は、3位決定戦を行うことを原則とする。(3位決定戦をやらない場合は0点とする。)

目 次

1 . (公財)日本中学校体育連盟憲章 指導者綱領 生徒綱領	2
2 . 令和7年度静岡県中学校体育連盟活動方針 県総体大会スローガン	3
3 . 静岡県中学校体育連盟表彰規程	4
4 . 静岡県中学校総合体育大会兼全国・東海予選会開催基準要項	5
5 . 「大会参加基準について」	7
6 . 「部活動指導員」「外部指導者(コーチ)」について	8
7 . 「合同チーム参加規定について」	9
8 . 大会参加に当たっての注意事項	10
9 . 第78回静岡県中学校総合体育大会開会式・閉会式次第	11
10 . 第78回静岡県中学校総合体育大会分担当表	12
11 . 第78回静岡県中学校総合体育大会役員	13
12 . 令和7年度静岡県総合・東海総合・全国中学校体育大会出場枠	19
13 . 競技別大会要項・規定・プログラム	
① バレーボールの部	21
② 卓球の部	25
③ 柔道の部	33
④ 陸上競技の部	37
⑤ バスケットボールの部	41
⑥ サッカーの部	45
⑦ ハンドボールの部	49
⑧ ソフトボールの部	51
⑨ 軟式野球の部	55
⑩ ソフトテニスの部	61
⑪ 剣道の部	67
⑫ 体操競技の部	71
⑬ 新体操の部	73
⑭ バドミントンの部	77
⑮ 相撲の部	81
⑯ 水泳の部	83
⑰ 駅伝の部	93
⑱ テニスの部	95
14 . 申込用紙(陸上競技の申込書は別途)	97
15 . 合同チームによる大会参加願	137
16 . 外部指導者(コーチ)承認書	139
17 . 部活動指導員確認書(校長承認書)	140

(公財)日本中学校体育連盟憲章

(公財)日本中学校体育連盟は、連帯と強調の固い約束により、法人として国の内外における責任と義務を遂行し、国民の信託に応えるべく、ここに会員の総意を結集して、この憲章を定める。

1. 体育・スポーツ活動を通して、人間尊重の精神にみち、心豊かな人間の育成に努める。
1. 体育・スポーツ文化の継承とその進展に寄与し、生涯スポーツ活動の推進に努める。
1. 体育・スポーツの国際交流を通して、中学生の国際理解の推進と国際スポーツの振興に努める。

(公財)日本中学校体育連盟指導者綱領

1. 中学校における体育・スポーツ活動を通して、人間性豊かな中学生を育てる。
1. 中学校における体育・スポーツ活動を通して、強健な心身をもつ中学生を育てる。
1. 中学校における体育・スポーツ活動を通して、将来にわたって自己実現できる中学生を育てる。
1. 体育・スポーツの国際交流を通して、国際理解と協調の精神に富む中学生を育てる。

(公財)日本中学校体育連盟生徒綱領

1. わたしたちは、体育・スポーツを行い社会に尽くすよう努力します。
1. わたしたちは、体育・スポーツを行い、強い体と心を養います。
1. わたしたちは、体育・スポーツを行い、世界の友との友情を深め平和を目指します。

静岡県中学校体育連盟活動方針

基 本 方 針

- 1 スポーツがもたらす価値を認識し、誰もが生涯に渡りスポーツを楽しみ健康を享受できる技能・体力・態度の基礎づくりをする。
- 2 スポーツを通じ、広く同世代の者との交流を図り友情を深めさせる。

具 体 策

- 1 日頃の活動の成果を試すべく静岡県中学校総合体育大会を実施し、併せて中学生年代の競技の普及と発展を期す。
- 2 競技力の向上、指導者の資質向上のために講習会等を催す。
- 3 望ましい部活動や競技会の在り方を探るために研修を積み、研究を深める。
- 4 心身の健全な発達を期し、体力の実状の把握に努める。また、体力の向上に努める。

令和7年度 第78回静岡県中学校総合体育大会

大会スローガン 「感動ある大会にしよう。」

…「挑戦」「友愛」「自立」

- 1 自らが持てる力を出し尽くし、最後まであきらめることなくプレーしよう。
…「挑戦」
- 2 友情の輪を広げ、互いの健闘を認め合う温かさを持とう。
…「友愛」
- 3 ルールやマナーを守り、さわやかさの残る大会にしよう。
…「自立」

静岡県中学校体育連盟表彰規定

昭和46年制定

昭和61年5月8日改正（第4条）

昭和62年2月27日改正（第2、1～5条の一部）

昭和62年11月10日改正（第4条）

平成12年2月17日改正（第4条）

平成13年5月29日改正

平成26年2月21日改正（第4条）

平成27年5月15日改正（第4条）

令和4年11月25日改正（第2、4条）

第1条 静岡県中学校体育連盟（以下本連盟という）に功績のあった者及び優秀団体、優秀選手に対しその栄誉を讃え、長く顕彰するために本規定を定める。

第2条 受賞者の資格は、次の各項に該当するもので、会長・理事または競技別専門部長が推薦したものとする。また、県大会総合成績優秀校については、第4条2項の規定による。

1 功労者

多年本連盟発展のため尽力し、功労のあった者

2 県大会総合成績優秀校（県教育長杯）

静岡県中学校総合体育大会において、入賞得点の多い男女各3校（地域スポーツ団体は除く）

3 優秀団体・優秀選手

当該年度の東海中学校総合体育大会において優勝、または全国中学校体育大会において、3位までに入賞した団体及び選手

4 特別表彰

県大会で3年連続優勝、東海中学校総合体育大会・全国大会で2年連続優勝した団体及び選手

第3条 功労者の推薦は、会長が行う。また、優秀団体・優秀選手については、理事または競技別部長が下記事項を記載の上、本連盟会長あてに推薦する。

1 氏名 〳住所 生年月日 性別

2 学校名 学年 〳学校所在地

3 業績

4 推薦理由

5 その他特記事項

第4条 選考ならびに決定は、下記のとおりとする。

1 功労者は、理事会の承認を得て決定する。

2 県大会総合成績優秀校は、下記得点の合計で決定する。

（1）得点は次のとおりとする。

ア 各競技ともに、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。

イ 県大会出場チーム数が8チーム以上23チーム以下の場合は、1位4点、2位3点、3位2点、4位1点とする。（ただし、3位が2チームの場合は各チーム1.5点とする）

ウ 出場チーム数が7チーム以下になった場合、1位の得点は参加チーム数を2で割った数（小数点以下切り捨て）とし、以下1点ずつ減ることとする。6～7チームでトーナメント戦の場合は、3位決定戦を行うことを原則とする。（3位決定戦をやらない場合は、0点とする。）

エ 得点は、男女とも団体競技のみとする。

オ 合同部活動（拠点校方式等による）には、各校へ得点を2で割った点数（少数第2位を切り捨て）を与える。

カ 合同チーム・地域スポーツ団体には総合成績の得点は与えない。また、その順位の得点はないものとする。

（2）得点合計が同じ場合は、次のとおりとする。

ア 上位順位の競技数の多い学校を上位とする。

イ それでも同じ場合は、県大会に出場した競技数の多い学校を上位とする。

3 優秀団体・優秀選手は、第2条3項に該当するものとする。

4 特別表彰は、第2条4項に該当するものとする。

第5条 表彰の内容及び方法は、下記のとおりとする。

1 功労者には、記念品と感謝状を本連盟より毎年5月の評議員会の席上で贈呈する。

2 県大会総合成績優秀校には、県教育委員会より賞状及び県教育長杯（持ち回り）、静岡新聞社・静岡放送より優勝旗（持ち回り）を授与する。また、2位・3位校には賞状を授与する。なお、授賞式は1月に行う。

3 優秀団体・優秀選手には、賞状を授与する。授与式は、県大会総合成績優秀校の表彰式と同時に行う。ただし、表彰式が行われない場合は、賞状の発送を持って表彰に代える。

4 特別表彰対象団体・対象選手には、本連盟より賞状を授与する。授与式は、連続優勝をした年度の県大会総合成績優秀校の表彰式と同時に行う。

附則

本規定は、昭和60年5月13日より施行する。

本規定は、平成14年4月1日より施行する。

本規定は、平成26年4月2日より施行する。

本規定は、平成27年5月16日より施行する。

本規定は、令和4年11月26日より施行する。

静岡県中学校総合体育大会兼全国・東海予選会開催基準要項

1 趣旨

静岡県中学校の生徒が、広くスポーツを愛好する中で、自ら持てる力を出し尽くし、最後まであきらめることなくプレーし（挑戦）、友情の輪を広げ、互いの健闘を認め合う温かさを持ち（友愛）、ルールやマナーを守り（自立）さわやかさの残る大会であり、中学校教育の一環として、学校体育の健全な発展を図る。

2 主催・後援及び主管

- (1) 主催は静岡県中学校体育連盟・静岡県教育委員会・静岡県関係各競技団体とする。
- (2) 後援は（公財）静岡県スポーツ協会とする。
- (3) 主管は静岡県中学校体育連盟・静岡県関係各競技団体とする。
- (4) 他の後援は静岡新聞社・静岡放送とする。

3 大会の開催

- (1) 大会は毎年開催する。
- (2) 大会は県下各会場で行う。会場は、各競技部からの要望に基づき、理事会にて調整する。

4 大会開催の時期と期間

- (1) 大会開催は原則として夏期休業中に行う。ただし、会期を大会の性質上別に定める場合には理事会の承認を得る。
- (2) 大会の期間は原則として3日以内とする。ただし、軟式野球・サッカーは5日以内とする。
また、屋外種目に関しては、熱中症対策として大会期間の延長を認める。

5 大会の規模

- (1) バレーボール、卓球、柔道、陸上競技、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、ソフトボール、軟式野球、ソフトテニス、剣道、体操競技、新体操、バドミントン、相撲、水泳競技、駅伝、テニス
以上18競技
- (2) 団体参加チーム数は32チーム以内とする。ただし、陸上競技・水泳競技は別に定める。
- (3) 競技方法は原則として各競技別学校・クラブ対抗トーナメント法とする。なお、個人戦もトーナメント法で行う。

6 本大会参加資格

本県で静岡県中学校体育連盟へ加盟している中学校・高等学校中等部及び特別支援諸学校の中等部に在籍し、静岡県中学校体育連盟に負担金を納入している生徒で、各支部大会（予選会）に出場し、各種目別に定めた資格を得たチームまたは生徒であること。

複数の支部が合同で開いた予選会で出場資格を得たチームまたは生徒の参加を認める。

参加資格の特例

- (1) 学校教育法134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、静岡県中学校体育連盟に対して負担金を納入し、各種目別に定めた出場資格を得たチームまたは生徒であること。
- (2) 各支部大会（予選会）に出場し、各種目に定めた出場資格を得た合同チームの参加を認める。
ア 団体競技であるバレーボール、軟式野球、ソフトボール、サッカー、バスケットボール、ハンドボールへの参加を認める。
個人種目のある陸上競技（駅伝を含む）・水泳競技・体操競技・新体操・剣道・柔道・卓球・バドミントン・ソフトテニス・相撲・テニスでは団体戦への出場を認めない。
イ 合同チーム編成に関する基準については別に定める。

7 大会委員

委員は主催・主管ならびに後援団体によって構成する。

8 参加申し込み

所定の期日までに、健康診断をし、学校長・クラブ代表者を通して各競技別に申し込むこと。

9 引率・監督及びベンチ

- (1) 引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。ただし、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、校長が適切であると承認した外部指導者（コーチ）に引率及び監督の資格を認める。またクラブにおいては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率・監督すること。（部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書（校長承認書）」に、外部指導者（コーチ）が引率・監督を務める場合は、所定の「外部指導者（コーチ）承認書」に必要事項を記入し参加申込時に提出すること。なお、部活動指導員・外部指導者（コーチ）は、他校の引率及び監督にはなれない。）
ここでいう「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されているものであり、学校設置者により任用されている者とする。
- (2) ベンチは、監督・登録選手及び競技で定められているコーチ・マネージャーとする。コーチ・マネージャーについては外部指導者（コーチ）でもよい。ただし、校長又はクラブ代表者の承認したもので、当該校やチームにあって継続的な指導を行っているものとする。
（当該校以外の中学校教職員、当該クラブ以外のクラブ指導者は、外部指導者（コーチ）になれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。ただし、水泳競技、体操競技、新体操、卓球のアドバイザーは省く）
（外部指導者（コーチ）がコーチ等を務める場合は、所定の「外部指導者（コーチ）承認書」に必要事項を記入し参加申込時に提出すること。）

- (3) 本連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者とする。校長又はクラブ代表者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は、校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。

10 全国・ブロック大会

- (1) 本大会で全国・ブロック大会への出場権を得たチームが原則として出場する。

11 その他

- (1) 現行の要項を修正・追加・削除などする場合、理事会の承認を得なければならない。
- (2) 台風などによる『暴風警報』が静岡県のいずれかに発表された場合には、大会を中止とする。ただし、『暴風警報』発表ならびに解除の時刻や、出場選手・大会関係者の安全が確保できた時点で大会を再開してもよい。
東海中学校総合体育大会プログラム編成会議までに大会が終了しない場合は、残っているチームの抽選で出場校を決定することを原則とし、詳細は各部で定める。
- (3) 大会開始時刻以前に開催地域に大雨、地震、津波、噴火、高潮などによる『特別警報』が発表された場合には、大会を中止する。開催中に『特別警報』が発表された場合は、直ちに大会を中止し、開催市町の避難情報に従うなど、適切な行動を取る。（会場留め置き、外部避難所への移動、保護者への引き渡し等）
再開の目処が立たない場合の東海中学校総合体育大会への出場については、その時点で残っているチームの抽選で決定することを原則とし、詳細については各部で定める。
- (4) 大気汚染に関する『注意喚起情報』、『光化学オキシダント注意報・警報』が開催区域に発表された場合には、その区域の大会を延期又は中止とする。
（大気汚染に関する情報は、屋外競技のみ適用する。）
ただし、情報・注意報・警報等の解除の時刻によって大会を再開してもよい。
東海中学校総合体育大会プログラム編成会議までに大会が終了しない場合は、残っているチームの抽選で出場校を決定することを原則とし、詳細は各部で定める。
- (5) 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）もしくは（巨大地震注意）」が発表され、大会前日までに安全が確認されない場合は大会を中止する。
また、大会期間中に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）もしくは（巨大地震注意）」が発表された時点で直ちに大会を中断する。安全確保を確実にし、県または開催市町からの情報を収集し対応する。再開の目処が立たない場合の東海中学校総合体育大会への出場については、その時点で残っているチームの抽選で決定することを原則とし、詳細については各部で定める。
- (6) 全国瞬時警報システム（Jアラート）による情報伝達があった場合は、大会を直ちに中断し、避難行動について指示する。安全が確認された場合は、大会を再開してもよい。再開の目処が立たない場合の東海中学校総合体育大会への出場については、その時点で残っているチームの抽選で決定することを原則とし、詳細については各部で定める。
- (7) 大会運営における熱中症予防対策に関しては、（公財）日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」を参考に（WBGT 31℃以上では「特別な場合以外は運動を中止する」）を用いることを原則とする。ただし、やむを得ない事情により、大会を運営する場合は、競技の特性を考慮し柔軟な対応（給水タイムや休憩時間の増加。選手交代等の規程の緩和。試合時間の短縮。延長戦規程の見直し。など）について、大会前に各競技部で決めておき、出場校に周知しておく。その際は、熱中症事故防止など、選手のみならず観戦者や大会に関する全ての人の安全管理にも万全の対応を講じることとする。

（昭和53年11月29日制定）

（平成9年3月一部改訂）

（平成11年5月一部改訂）

（平成12年3月一部改訂）

（平成13年5月一部改正）

（平成14年11月一部改正）

（平成15年5月一部改正）

（平成16年11月一部付加）

（平成21年2月一部改正）

（平成25年4月一部改正）

（平成26年6月一部付加）

（平成30年4月一部付加・一部改正）

（令和3年12月一部付加・一部改正）

（令和4年11月一部付加）

（令和5年4月一部改正）

（令和5年9月一部付加）

（令和6年11月一部付加・一部改正）

夏季大会参加基準

- I 夏季大会17競技については、学校の部活動に所属している競技に参加することを原則とする。
ただし、指定した期日までに地域スポーツ団体(以降クラブ)での参加意思を示した者はクラブから出場できる。
また、下記にあげる1・2の場合で、所属校長が参加を認め、大会要項の各競技部で決められている
『参加基準』に反しない場合は、競技の参加及び複数の競技参加を認める。

1 支部または地区予選会を行わず、直接静岡県中学校総合体育大会へ参加の競技。
(体操・新体操・ハンドボール・相撲)

2 校内にその競技の部活動がなく、クラブで活動をし、大会への参加を希望している生徒で、
引率する校長、教員または外部指導者(コーチ)がいる場合は、個人戦に限り参加できる。
(陸上・水泳・体操・新体操・柔道・剣道・バドミントン・卓球・ソフトテニス・相撲)

◎ただし、体操・新体操、柔道、相撲 は特例で団体戦にも参加できる。

* 複数の競技に参加する場合(例:バスケットボールとハンドボール、柔道と相撲等)

* 支部・地区・県大会の全ての開催日が重ならないこと。

* 大会参加は、敗退するまで通して参加をし、途中棄権などをしないこと。

* 全国大会への複数競技の参加は認められない。

◎全国大会の大会参加基準 『7. 参加資格 (6)』

「夏季大会に限り、同一年度内の参加は、全競技を通じて、一人一回とする。」

* 東海大会への複数競技の参加は認められない。(全国大会参加基準に準ずる)

* この規定については、支部大会から適用する。上位大会出場の可能性がある場合は、東海大会
及び全国大会出場を考慮して大会参加について指導をすること。

- II 夏季大会17競技の団体種目については、1種目につき 1 校 1 チームの参加を原則とする。

ただし、統合がなされた中学校については、所属校長が参加を認め、大会要項の各競技部で決められている
『参加基準』に反しない場合は、統合初年度に限って統合以前の学校ごとのチーム(複数)での参加も認める。

- III 合同部活動(拠点校方式等による)チームは単一校にて編成されたチームと同様に扱う。

ここでいう合同部活動とは、近隣3校以内(5学級以下の小規模校はその限りではない)において一つの
部活動を設置し活動をしているものを言う。市町の教育委員会が認め、競技団体への団体登録も一つの団体
(チーム)として登録しているもので、複数校合同チームとは異なる。

* この規定については、支部大会から適用する。

- IV クラブのチーム及び生徒は以下の条件のもと参加できる。

④チーム対抗戦形式の種目は、クラブ支部予選を行い、原則優勝した1チームが静岡県大会へ参加する。

①バレーボール ②サッカー ③ソフトボール ④軟式野球 ⑤ハンドボール ⑥バスケットボール

⑧個人戦と団体戦のある種目も、個人戦だけでなく、団体戦の参加を認める。その場合の団体戦は、クラブ支部予選
を行い、原則優勝した1チームが静岡県大会へ参加する。

⑦陸上競技(含む駅伝) ⑧水泳 ⑨柔道 ⑩剣道 ⑪相撲 ⑫卓球 ⑬ソフトテニス ⑭バドミントン ⑮体操 ⑯新体操

* なお、個人戦の参加大会(クラブ支部大会、支部大会、地区大会、県大会)や、団体戦の扱いについては
競技部にて定める。

外部の指導者（教職員以外）の扱いについて

※ 教職員以外の外部の指導者は『部活動指導員』と『外部指導者（コーチ）』のいずれかとなります。

★数年前から承認書の形式が変わり（写真添付なし、コーチの印なし等）ましたのでご注意ください。

また、「部活動指導員」のIDは県中体連事務局では作成しませんので、競技部の指示に従ってください。

『部活動指導員』について

学校教育法施行規則が改正され、第78条の2に「部活動指導員」という記載が加えられ、数年前より施行されました。そしてスポーツ庁より出されたガイドラインの中では、下記の様に位置付けられています。

1 部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に基づき、「中学校におけるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動（学校の教育課程として行われるものを除く。）に係る技術的な指導に従事する」学校の職員（義務教育学校後期課程、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の中学部及び高等部については当該規定を準用）。学校の教育計画に基づき、校長の監督を受け、部活動の実技指導、大会・練習試合等の引率等を行う。校長は、部活動指導員に部活動の顧問を命じることができる。

また、日本中体連においても「部活動指導員」による、全国中学校体育大会における引率及び監督を認めています。そのため、本県総体においても、同様の対応をいたします。

※部活動指導員については、部活動指導員承認書を3部作成する。（令和5年度より形式変更）

1 部は県中体連事務局（コピー可）へ郵送する。

1 部は大会参加申込書とともに、各競技部長（コピー可）へ提出する。

1 部は学校控えとする

『外部指導者（コーチ）』について

- ① 外部指導者（コーチ）は、当該チーム（選手）に対して、日常的に指導に携わっており、支部大会においても出場校の校長が認めた者とする。ただし、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者（コーチ）にはなれない。（水泳競技、体操競技、新体操、卓球（アドバイザー）は、この項省く）
- ② 校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、校長が適切であると承認した外部指導者（コーチ）に引率及び監督の資格を認める。外部指導者（コーチ）が引率・監督を務める場合は、所定の「外部指導者（コーチ）承認書」に必要事項を記入し参加申込時に提出すること。
- ③ 外部指導者（コーチ）については、県大会出場が決まったら直ちに所定の「外部指導者（コーチ）承認書」を3部作成する。（令和5年度より形式変更）項を記入し参加申込時に提出すること。なお、部活動指導員・外部指導者（コーチ）は、他校の引率及び監督にはなれない。）

1 部は県中体連事務局（コピー可）へ郵送する。

1 部は大会参加申込書とともに、各競技部長（コピー可）へ提出する。

1 部は学校控えとする

※ なお、部活動指導員、外部指導者（コーチ）は、他校の引率及び監督にはなれない。

※ 各競技部の大会要項などに、「外部指導者」、「外部指導員」などいくつかの表記がありましたら、

『外部指導者（コーチ）』と表記を統一してください。

静岡県合同チーム参加規定

静岡県中学校体育連盟

平成23年制定
平成26年4月1日改正(第3条)
平成27年11月27日改正(第2条)
平成29年5月19日改正(第2条)
令和元年11月29日改正(第2条)
令和5年6月30日改正(第3条、第4条)

第1条(目的)

この規定は、少子化に伴う部員数の減少で、単独チームによる大会参加の困難な学校が生じていることを配慮し、少人数の運動部に大会参加の機会を与えるという趣旨から、複数校による合同チームの編成での大会参加を認めることを目的とする。ただしこの規定は、競技力を目的としたチーム編成や個人の救済措置ではない。

第2条(編成の条件)

- (1) 合同チームの各校は、静岡県中学校体育連盟に加盟していること。
- (2) 合同チームの編成を希望するそれぞれの学校において、学校教育活動計画に基づいて部が設置され活動していること。
- (3) 合同チームの編成は、同支部内(※1)の学校同士とする。ただし、以下の1～4の順に編成をすることを基本とする。(※1:ここでいう同支部内とは、支部大会開催区分のことをいう)
 - 1、同市町内において、第3条にある人数に満たない学校同士
 - 2、同市町内において、第3条にある人数に満たない学校と満たしている学校
 - 3、同支部内において、第3条にある人数に満たない学校同士
 - 4、同支部内において、第3条にある人数に満たない学校と満たしている学校

第3条(承認競技)

合同チームで参加ができるのは、個人競技のない以下の6競技に限る。(全国大会参加規定に準じる)

また、どちらか一方が()内の人数を下回った場合に合同チームが組める。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ① バスケットボール(5) | ② サッカー(11) | ③ バレーボール(6) |
| ④ 軟式野球(9) | ⑤ ソフトボール(9) | ⑥ ハンドボール(7) |

* 前年度全中大会以降に複数校合同チームの実績があるものについては、新年度新入生入部により、両校が()内の人数を上回った場合でも、特例として引き続き複数校合同チームを編成して全中大会まで参加することもできる。期間については、最長で全国大会までとする。該当する場合は、その趣旨を支部中体連に伝え、その後静岡県中学校体育連盟の承諾を得ること。

第4条(参加基準)

- (1) 原則2校までの合同とし、3校以上になる場合はその趣旨を支部中体連に伝え、その後静岡県中学校体育連盟の承諾を得ること。
- (2) 合同チームの各校には顧問が必要であり、両校いずれかの顧問が代表監督として登録をすること。
また、もう一方の顧問は、コーチとしてベンチ入りすること。但し、やむをえない場合は代表監督だけでもよい。

第5条(編成の手続き)

- (1) 編成の条件を満たしている当該校長は、教育上合同チームの編成が必要であるという判断のもと、同支部大会に参加する学校に合同チームの編成を働きかけることができる。
- (2) 合同チーム両校の校長が編成を認めたら、その旨を支部中体連会長に申請をする。
- (3) 申請を受けた支部会長は、支部理事長・競技部長と協議の上、承認の可否を判断する。
- (4) 申請は合同チーム活動開始前に確実にを行うこと。

第6条(参加資格の抹消)

- (1) 各支部中体連から大会参加の承認を受けたチームであっても、次のような場合には、その資格を失うこともある。
 - ① 本規定の趣旨や目的にそった合同チームでないことが明らかになった場合。
 - ② 「合同チーム参加規定」ならびに「登録申請・承認規定」に違反した場合。

附則

この規定は、平成23年4月1日より実施する。
(ただし、この規定は平成23年度4月1日 入学生より適応する)
本規定は、平成26年4月1日より実施する。
本規定は、平成28年4月1日より実施する。
本規定は、平成30年4月1日より実施する。
本規定は、令和2年4月1日より実施する。
本規定は、令和6年4月1日より実施する。

大会参加にあたっての注意事項

＊ 生徒及び保護者の皆様にも関わることでありますので、各学校で周知徹底してください。

会場使用上の注意

- 1 各会場の使用上の注意をきちんと守ること。
- 2 会場責任者及び会場職員の指示に従うこと。
- 3 地震などの緊急時は、会場責任者の指示に従うこと。
- 4 飲食などは決められた場所で行うこと。
- 5 体育館など上履きと下履きの区別をきちんとすること。
- 6 立ち入り禁止区域へ立ち入らないこと。
- 7 会場の備品などの破損がないように十分に注意すること。
- 8 ウォーミングアップは定められた場所で行うこと。特にボールなどを使用する場合は、器物の破損などないように細心の注意を払うこと。
- 9 喫煙は定められた場所のみです。吸殻などは絶対に捨てないこと。
- 10 弁当のごみなど自分の出したごみは必ず持ち帰り、会場内に設置してあるごみ箱に捨てないこと。
- 11 盗難などに遭わないように、荷物はきちんと管理すること。
- 12 自動車の駐車は定められたところにきちんと駐車し、会場の周辺道路などの駐車禁止区には、絶対に駐車しないこと。
- 13 会場を去るときには、忘れ物、ごみの有無を確認し、きれいな状態にして会場を出ること。

応援のマナーについて

- 1 審判に文句をいったりしないこと。
- 2 相手を誹謗するような応援はしないこと。
- 3 鳴り物は使用しないこと。（吹奏楽部による応援はその限りでない。）
- 4 吹奏楽部の応援が入る場合、会場外での練習はしないこと。
- 5 試合の進行を妨げるような応援はしないこと。

選手について

- 1 各競技ごとに定められた規定に従い、正しい服装で、試合に参加すること。
- 2 ルールを守り、審判のジャッジに対して不平や不満を言うことなく全力を出し切ること。
- 3 試合の開始、終了のあいさつをきちんとし、お互いをたたえあうこと。また、応援をしてくれた保護者などにもきちんとあいさつをすること。

感染症対策について

- 1 各競技部が定める感染症対策に従い感染症拡大防止に努めること。

《個人情報保護に関する法律への対応について》

平成17年4月1日より、個人情報保護に関する法律が施行されました。
静岡県中学校体育連盟では、下記の点を個人情報の利用目的とします。

- | | |
|---------|--------------------------|
| 1 大会要項 | 役員及び審判員の所属名・氏名 |
| 2 プログラム | 生徒の学校名・学年・氏名身長・体重（競技による） |
| 3 大会結果 | 生徒の学校名・学年・氏名・記録 |
- ※ 会場でのアナウンス、電光掲示への記載、大会後の新聞等の発表、中体連年鑑等への記載、ホームページへ生徒の学校名・学年・氏名・記録の記載（含む写真撮影ならびに掲載）

この点について本人ならびに保護者の同意を得た上で大会に参加させてください。

同意しない生徒ならびに保護者がいる場合には、参加申込書の「備考」欄にレ点を記して提出してもらいます。また、同意しない生徒がいることを支部中体連理事長に連絡をして、その対応について指示を仰いでください。

第78回 静岡県中学校総合体育大会

競技別開会式(開始式)

1. 期 日
- | | |
|-------|----------------------------------|
| 6月15日 | 男子新体操 |
| 7月 5日 | 体操競技 |
| 19日 | 陸上競技 |
| 24日 | バスケットボール、サッカー、軟式野球、ソフトテニス、水泳(競泳) |
| 25日 | ハンドボール、柔道、(バドミントン団体) |
| 26日 | ソフトボール、女子新体操、バドミントン団体 |
| 27日 | 相撲、剣道、バドミントン個人 |
| 28日 | バレーボール、テニス(硬式) |
| 30日 | 卓球 |
| 8月1日 | (バドミントン個人) |
| 11月3日 | 駅伝 |

※ 総合開会式(県教育長杯返還式)はバスケットボール競技部開会式と兼ねる。
※ バドミントン競技に関しては、参議院選挙の関係で会場を変更する可能性がある。

2. 会 場 各競技会場

3. 参加選手 代表選手
前年度優勝チーム

4. 次 第
- | | | | |
|---|------------------------|----|-------------------|
| 1 | 選手入場 | 6 | 来賓あいさつ(競技別協会会長など) |
| 2 | 開式のことば | 7 | 競技上の注意(審判長 部長) |
| 3 | 国旗・県旗・県中体連旗・競技別協会旗など掲揚 | 8 | 選手宣誓 |
| 4 | 優勝杯(旗)返還・レプリカ授与 | 9 | 閉式のことば |
| 5 | 主催者あいさつ(担当校長) | 10 | 選手退場 |

競技別閉会式

- 次 第
- | | |
|------|---|
| 1 | 開式のことば |
| 2 | 成績発表 |
| 3 | 表彰 |
| 優勝 | 中 体 連 より 賞状、優勝杯、メダル
静岡新聞社 より 優勝楯、メダル
静岡放送 (協会優勝杯) |
| 2・3位 | 中 体 連 より 賞状
静岡新聞社 より メダル
静岡放送 |
| 5～8位 | 中 体 連 より 賞状 |
| 4 | 講評(主催者あいさつ) |
| 5 | 閉式のことば |

※ 開閉会式共に、競技によっては内容が変更する可能性があります。

令和7年度静岡県中学校総合体育大会分担表

R7.5.16

項目 競技	大会期日	会 場	担当校長			県部長		競技団体 理事長 (県部長確認)
			担当理事		(所属)	東部部長		
						中部部長		
			(担当支部)			西部部長		
バレーボール	7/28～30 (月～水)	エコパアリーナ エコパサブアリーナ	(小笠)	豊田 彰規	大須賀	酒井 史貴 (岳洋)	村松喜一郎	
			(小笠)	伊藤 拓史	御前崎	宝金 裕幸 (富士)		
卓球	7/30～8/1 (水～金)	静岡県武道館	(志榛)	海老岡正乃	青島北	屋代 侃大 (大里)	土屋 明	
			(志榛)	増井 涼	吉 田	中村 優志 (三ヶ日)		
柔道	7/25～7/26 (金～土)	静岡県武道館	(志榛)	岩尾 秀幸	川 根	白井 信明 (新居)	左 口 直人	
			(志榛)	浅井 瑛	青 島	黒木 康史 (御殿場西)		
陸上競技	7/19～20 (土～日)	エコパスタジアム	(磐周)	平野 貴久	袋井周南	小吹 和広 (末広)	川口 雅司	
			(磐周)	日向 弘承	磐田城山	諸井 達哉 (浜松南部)		
バスケットボール	7/24～26 (木～土)	このはなアリーナ エコパ・サブアリーナ 富士市総合体育館・サブ	(静岡)	齊藤 隆英	清水五	今井 靖史 (長岡)	三浦 昭彦	
			(静岡)	稲垣 信太	清水七	山本 典良 (岳陽)		
サッカー	7/24～29 (木～火)	裾野運動公園・愛鷹総合 蛇塚・竜洋スポーツ公園・石人の星 磐田安久路公園・浜岡総合 藤枝市陸上・藤枝市民 藤枝総合サッカー場	(志榛)	鷲野 誠	小川	朝比奈 竜真 (静岡翔洋)	遠藤 文朗	
			(志榛)	河井 大樹	瀬戸谷	星野 祐樹 (北浜)		
ハンドボール	7/25～26 (金～土)	清水総合体育館	(静岡)	木下 雅人	末 広	西井 勝章 (飯田)	油上 智	
			(静岡)	望月 翔平	清水南中等部	木下 佳彦 (三島北)		
ソフトボール	7/26～28 (土～月)	天竜川河川敷	(浜松)	影山 ちか	積 志	水野 健吾 (服織)	大沼 信一	
			(浜松)	山下 憲一	北 浜	松野 大樹 (浜松東部)		
軟式野球	7/24～29 (木～火)	裾野 焼津 西ヶ谷 浜岡 庵原 庵原サブ	(静岡)	細貝 敏春	賤 機	中村 純也 (浜松東部)	山本 満	
			(静岡)	伊藤 公俊	清水三	鶴田 太郎 (山田)		
ソフトテニス	7/24～27 (木～日)	草薙庭球場 有度山テニスコート	(静岡)	山本 信之	袖 師	土屋 善一 (金谷)	漆畑 勝之	
			(静岡)	高田 義己	清水二	大石 寛之 (曳馬)		
剣道	7/27～29 (日～火)	静岡県武道館	(志榛)	石川 泰宏	光の森学園	青木 大輔 (静岡東)	澤入 光広	
			(志榛)	高尾 友靖	六合	溝畑 哲 (富岡)		
体操	7/5(土)	このはなアリーナ	協会県ジュニア大会			遠藤 尚寛 (富士根南)	青柳 敦子	
新体操(男子)	6/15(日)	このはなアリーナ	協会県ジュニア大会			池田 智幸 (高洲)		
新体操(女子)	7/26～27 (土～日)	このはなアリーナ	(静岡)	大橋 邦一	英 和	中山 颯斗 (掛川西)	吉水 将史	
			(静岡)	杉浦 功貴	長田南	堤 卓也 (静岡豊田)		
バドミントン	7/26～27(土・日) 選挙で使用できない場合 団体7/25・個人8/1 (金・金)	富士宮市民体育館 シーガルドーム	(富士宮)	村松 宏一	大富士	土屋 雄己 (清水南)	福里紳太郎	
			(富士宮)	深澤 賢一	富士宮一	齋藤 大雅 (大井川)		
相撲	7/27(日)	富士宮北高校	(富士宮)	村松 宏一	大富士	稲垣 諒 (岳洋)	杉山 勉	
			(富士宮)	深澤 賢一	富士宮一	芹澤 秀晃 (河津)		
水泳競技	7/24～25 (木～金)	富士水泳場	(富士)	神尾 充浩	富士南	山縣 寛 (熱海)	川口 雅司	
			(富士)	萩原 慎	鷹 岡	武田 健太郎 (観山)		
駅伝	11/3(月)	小笠山運動公園	(小笠)	伊藤 良典	御前崎	山本 敬介 (入野)	鈴木 敏文	
			(小笠)	青嶋 翔太	菊川西	吉林 侑亮 (細江)		
テニス(硬式)	7/28(月)	有度山テニスコート	(静岡)	小山祥史	聖 光	安原 聖人 (吉原北)	鈴木 敏文	
			(静岡)	長谷川佑樹	清水飯田	高尾 悠 (高洲)		

地区予選会

競技 項目	東部期日		東部会場		東部担当校長		東部担当理事		東部地区部長
	中部期日		中部会場		中部担当校長		中部担当理事		中部地区部長
	西部期日		西部会場		西部担当校長		西部担当理事		西部地区部長
陸上競技	6/7、8(土・日)	(東部) 富士総合運動陸上競技場	富士	神尾 充浩	富士南	萩原 慎	鷹 岡	木下 佳彦	
		(中部) 草薙陸上競技場	静岡	石川 裕	観 山	稲垣信太	清水七	水野 健吾	
		(西部) 四ツ池陸上競技場	浜松	影山 ちか	積 志	山下 憲一	北 浜	松野 大樹	
水泳	7/5、6(土・日)	(東部・中部) 県立富士水泳場	東豆	荒井 威雄	伊東対島	高橋 雄治	熱海多賀	深辺 健斗	
			静岡	藁科彰良	大 里	稲垣信太	清水七	石黒 朝陽	
		(西部) 西ヶ谷総合屋内プール	湖西	藤井 英樹	岡 崎	大杉 貴康	岡 崎	桑原 大地	
駅伝	10/11(土)	(東部) 裾野市陸上競技場	駿東	芹澤 博一	富士岡	小宮山恭平	原 里	湯山 喬史	
		(中部) 大井川陸上競技場	志榛	石川 泰宏	光の森学園	高尾 友晴	六合	柴 創太	
		(西部) 小笠山運動公園	磐周	平野 貴久	袋井周南	日向 弘承	磐田城山	藤森 淳	

R7 大会役員

役 名		職 名						
名 誉 会 長		県 教 育 長		池上 重弘				
顧 問		県スポーツ協会代表理事		中谷 多加二				
		競 技 団 体 長		バレーボール	卓 球	柔 道	陸上競技・駅伝	
				村松喜一郎	土屋 明	福里紳太郎	川口 雅司	
				バスケットボール	サッカー	ハンドボール	体操・新体操	
				土屋 哲平	遠藤 文朗	油上 智	青柳 敦子	
				ソフトボール	軟式野球	ソフトテニス	水 泳	
				大沼 信一	山本 満	漆畑 勝之	杉山 勉	
				剣 道	バドミントン	相 撲	テニス	
		澤入 光広	吉永 将史	福里紳太郎	鈴木 敏文			
会 長		会 長		長澤 滋文				
副 会 長		副 会 長				芹澤 博一	山城 史人	影山 ちか
大 会 委 員 長		理 事 長		杉山 肇				
大 会 副 委 員 長		地 区 理 事 長				小宮山恭平	稲垣 信太	山下 憲一
大 会 委 員		県教委健康体育課担当理事		栗林 俊輔		古屋 智基		

R7 バレーボール競技役員

役 名	職 名					
総 務 委 員 長	担 当 校 長	豊田 彰規				
総 務 副 委 員 長	県 競 技 団 体 専 務 理 事	村松喜一郎				
	中 体 連 担 当 理 事	伊藤 拓史				
総 務 委 員		都築 安夫	鈴木 照久	垣見 佳子	都築 哲	
競 技 委 員 長	県 部 長	酒井 史貴				
競 技 副 委 員 長		宝金 裕幸	屋代 侃大	中村 優志		
審 判 委 員 長		鈴木 健太				
審 判 副 委 員 長		白井 真也	松永 愛矢	石田 朋也		
審 判 委 員		各地区審判員				
運 営 委 員 長		松下 裕伸				
運 営 副 委 員 長		渡邊 良	大貫 隼典			
運 営 委 員		各支部競技部長、小笠、磐周支部運営委員				
生 徒 役 員		小笠支部中学校バレーボール部				
救 護 員		小笠支部養護教諭				

R7 卓球競技役員

役 名	職 名				
総 務 委 員 長	担 当 校 長	海老岡 正乃 （青島北中）			
総 務 副 委 員 長	県 卓 球 協 会 理 事 長	土屋 明			
	中 体 連 担 当 理 事	増井 涼 （吉田中）			
総 務 委 員	協 会 役 員	卓球協会会長			
		下田一十四			
	中 体 連 役 員	運動部活動強化委員	※ 競技中学生部会		
		中島 崇	(袋井南中)		
競 技 委 員 長	県 部 長	白井 伸明 （新居中）			
競 技 副 委 員 長	地 区 部 長	東 部	中 部	西 部	
		黒木康史(御殿場西中)	小吹和広(末広中)	諸井達哉(浜松南部中)	
審 判 委 員 長	中体連卓球競技部審判長	中島 崇	(袋井南中)		
審判副委員長	志太・榛原支部審判長	中村 雅樹	(金谷中)		
審 判 委 員		※ 東部・中部・西部地区中学校卓球部顧問			
運 営 委 員 長	志太・榛原支部卓球部長	渋谷 駿太	(島田第一中)		
運営副委員長	志太・榛原支部卓球副部長	芝 直輝	(青島中)		
運 営 委 員	各 支 部 卓 球 部 顧 問	※ 志太・榛原支部中学校卓球部顧問			
補 助 員		※ 志太・榛原支部中学校卓球部員			
救 護 員		※ 志太・榛原支部養護教諭			

R7 柔道競技役員

役 名	職 名				
大 会 会 長	担 当 校 長	岩尾 秀幸			
大 会 副 会 長	県 柔 道 協 会 会 長	野田 昭一			
大 会 委 員 長	県 部 長	今井 靖史			
大 会 委 員	県柔道協会理事	左口 直人	高田 和夫	間宮 幸男	
		古川 隆士	興梠 正人	川合 孝弘	
競 技 委 員 長	県 部 長	今井 靖史			
競 技 副 委 員 長	地 区 部 長	東 部	中 部	西 部	
		山本 典良	朝比奈 竜真	星野 祐樹	
競 技 委 員		鈴木 悠生	漆畑 啓	古郡 俊一	水口 透
		野毛 隆成	佐藤 立樹	宇佐美裕司	中村 有伺
		朝比奈竜真	宗 龍二	高橋 雄太	
審 判 長		阿部 光好			
審 判 委 員		※ 静岡県柔道協会派遣審判員			
		※ 静岡県中学校柔道部顧問			
補 助 員		※ 中学高校柔道部員			
救 護 員		看護師			

※ 救護係、受付係、式典進行係、計量係、試合場係、本部記録係、駐車場係、接待係：

静岡県中部地区中学校柔道部顧問

R7 陸上競技役員

役 名	職 名				
総 務 委 員 長	担 当 校 長	影山 ちか			
総 務 副 委 員 長	県 陸 協 理 事 長	川口 雅司			
総 務	中 体 連 担 当 理 事	山下 憲一			
競 技 委 員 長	県 部 長	西井 勝章			
競 技 副 委 員 長	地 区 部 長	東 部	中 部	西 部	
		木下 佳彦	水野 健吾	松野 大樹	
競 技 役 員		※ 静岡陸上競技協会公認審判員			
救 護 員		看護師			

R7 バスケットボール競技役員

役名	職名				
総務委員長	担当校長	齊藤 隆英			
総務副委員長	県協会専務理事	三浦 昭彦			
	中体連担当理事	稲垣 信太			
総務委員	団体役員	三ツ井 涼	小田 尚人		
競技委員長	県部長	中村 純也			
競技副委員長	地区部長	東 部	中 部	西 部	
		鶴田 太郎	土屋 善之	大石 覚之	
審判委員長		美澤 将史			
審判副委員長		横井 泰人			
審判委員		栗田 吏章	有田 正希	平野 光亮	※ 他公認審判員
運営委員長	中部地区部長	土屋 善之			
運営副委員長	庶務・会計	中村 まどか			
運営委員		※ 静岡県中学校バスケットボール部顧問			

救護員		静岡支部養護教諭、小笠支部養護教諭、富士支部養護教諭、浜松支部養護教諭
-----	--	-------------------------------------

R7 サッカー競技役員

役 名	職 名	
総務委員長	担当校長	鷲野 誠
総務副委員長	県協会理事長	遠藤 文朗
総 務	中体連担当理事	河井 大樹
競技委員長	県 部 長	平野 充訓
競技副委員長	地 区 部 長	高林 直洋 池田 亘平 齋藤 孝信 岩澤 達人
競 技 委 員		澤野 雅人 中野 大輔 大河内 康博
		穂田 真也 久保 裕介 森 健治 初鹿野 亮
		西村 脩平 小川 雄也 大谷 悠
		※ 他:志太榛原支部サッカー部顧問 駿東支部サッカー部顧問 浜松支部サッカー部顧問 静岡支部サッカー部顧問 沼津支部サッカー部顧問 小笠・磐周支部サッカー部顧問
審 判 長		金澤 秀樹
審 判 委 員		※ 静岡県サッカー協会2級3級審判委員
		※ 各支部3級4級審判取得教諭
庶 務 会 計		森田 郷士
会場担当		齋藤 孝信 裾野運動公園
		山下 秀人 愛鷹総合スポーツ広場
		池田 亘平 藤田 伸浩 蛇塚G
		初鹿野 亮 藤枝総合サッカー場
		石橋 直明 藤枝総合陸上競技場
		深澤 孝紀 藤枝総合多目的G
		深澤 孝紀 藤枝市民G
		鈴木 拓実 横井人工芝G
		鈴木 義典 竜洋スポーツ公園サッカー場
		高林 直洋 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ
		大石 紘平 磐田安久路公園多目的G
		中山 慶介 浜岡総合運動場
		高林 直洋 石人の星(遠州灘海浜公園)
救 護 員		※ 志太榛原支部養護教諭、駿東支部養護教諭、浜松支部養護教諭 静岡支部養護教諭、沼津支部養護教諭、小笠・磐周支部養護教諭
補 助 生 徒		※ 各支部中学校サッカー部員

R7 ハンドボール競技役員

役 名	職 名	
総務委員長	担当校長	木下 雅人
総務副委員長	県協会理事長	油上 智
	中体連理事	望月 翔平
競技委員長	県 部 長	青木 大輔
審判委員長		片山 聡
審判委員		※ 静岡県ハンドボール協会
補助員		※ 静岡市立東中学校ハンドボール部員
救 護 員		中村 剛志 平野 修平

R7 ソフトボール競技役員

役名	職名				
総務委員長	担当校長	影山 ちか			
総務副委員長	県協会理事長	大沼 信一			
総務委員	中体連理事	山下 憲一			
競技委員長	県部長	溝畑 哲			
競技副委員長	地区部長	東部	中部	西部	
		遠藤 尚寛	池田 智幸	中山 颯斗	
審判委員		※ 静岡県ソフトボール協会審判委員会			
運営委員長	開催支部部長	増井 隆一			
運営副委員長	開催支部副部長	深津 海斗	進士 侑也	川井 大育	秋山 佳奈
運営委員	開催地区・支部部員	※ 浜松支部中学校ソフトボール部顧問			
補助員		※ 浜松支部中学校ソフトボール部員			
救護員		浜松支部養護教諭			

R7 軟式野球競技役員

役 名	職 名				
総 務 委 員 長	担 当 校 長	細貝 敏春			
総 務 副 委 員 長	県 野 連 理 事 長	山本 満			
	中 体 連 担 当 理 事	伊藤 公俊			
総 務 委 員	県 野 連 役 員	山本 満	三宅 章夫	河合 祐一	
	中 体 連 役 員	榛葉 龍太郎	遠藤 太郎		
競 技 委 員 長	県 部 長	堤 卓也			
競 技 副 委 員 長	地 区 部 長	東部	中部	西部	
		土屋 雄己	齋藤 大雅	稲垣 諒	
審 判 委 員 長		加藤 廣美			
審 判 副 委 員 長		東部	中部	西部	
		梶原 範彰・大井 陽晃	八木 隆	鈴木 雅美	
審 判 委 員		※ 静岡県野球連盟審判部			
運 営 委 員		土屋 雄己 遠藤 太郎 榛葉 龍太郎 齋藤 大雅 稲垣 諒			
補 助 員		※ 中学校野球部員			
救 護 員		※ 各支部養護教員			

R7 ソフトテニス競技役員

役 名	職 名				
総 務 委 員 長	担 当 校 長	山本 信之(袖師)			
総 務 副 委 員 長	県 団 体 理 事 長	漆畑 勝之	小野 康弘(清竜)		
	中 体 連 担 当 理 事	高田 義己(清水二)			
競 技 委 員 長	県 部 長	芹澤 秀晃(河津)			
競 技 副 委 員 長	地 区 部 長	東部	中部	西部	
		山縣 寛(熱海)	武田健太郎(観山)	山本 敬介(入野)	
審 判 委 員 長		高橋 允(金岡)			
審 判 副 委 員 長		大倉佑太郎(掛川東)	中山 竜彰(掛川東)	山本 純也(湖東)	定保 良(北星)
運 営 委 員 長	静 岡 支 部 長	北村 太一(清水七)			
副 運 営 委 員 長		磯口 航(大里)			
運 営 委 員	各 支 部 長	船渡 祥太(下田)	太田 泰成(門野)	土屋 直輝(中郷西)	宮尾 剛人(函南東)
		岩瀬 竜(静浦)	永田 彩(御殿場南)	加藤 理道(大淵)	渡邊 賢(富士宮一)
		池谷 武(初倉)	川中 瑞貴(原野谷)	田代 瑞樹(浅羽)	栗野 光晴(藤枝MK)
救 護 員		静岡支部養護教員			
会 計		太田 賢(亀玉)			

会 計		太田 賢(僊玉)			
-----	--	----------	--	--	--

R7 剣道競技役員

役 名	職 名				
総務委員長	担当校長	石川 泰宏			
総務副委員長	県剣道連盟理事長	澤入 光広			
	中体連担当理事	高尾 友靖			
競技委員長	県 部 長	吉林 侑亮			
競技副委員長	地 区 部 長	東部	中部	西部	
		安原 聖人	高尾 悠	内山 忠則	
審判委員長	県 剣 道 連 盟	※ 静岡県剣道連盟派遣			
審判委員		※ 静岡県剣道連盟、静岡県中学校剣道部顧問			
補助員		※ 志太榛原支部および静岡支部中学校剣道部員			
救護員		志太榛原支部養護教諭			

R7 体操競技役員

役 名	職 名				
総務副委員長	県 協 会 理 事 長	青柳 敦子			
競技委員長	県 部 長	柳田 晋吾			
審判委員	体 操	※ 静岡県体操協会審判部			

R7 新体操競技役員

役名	職名				
総務委員長	担当校長	大橋 邦一			
総務副委員長	県協会理事長	青柳 敦子			
	中体連担当理事	杉浦 功貴			
競技委員長	県部長	渡邊 知里			
競技副委員長	新体操	東部	中部	西部	
	地区部長	渡邊 知里	真鍋 朝香		
審判委員	新体操	※ 静岡県体操協会審判部			
運営委員	新体操	参加チーム顧問・監督			
救護員		静岡支部養護教諭			

R7 バドミントン競技役員

役 名	職 名	名			
総 務 委 員 長	担 当 校 長	村松 宏一	(大富士中)		
総務副委員長	県 協 会 理 事 長	吉水 将史			
総 務	中 体 連 担 当 理 事	深澤 賢一	(富士宮一中)		
競 技 委 員 長	県 部 長	根本 湊太	(静岡梅ヶ島小中)		
競 技 副 委 員 長	地 区 部 長	柏木 慶太	(富士根南中)		
競 技 役 員 長	(レ フ ェ リ ー)	※静岡県バドミントン協会より派遣の予定			
審 判 長	(デュピティレフェリー)	※静岡県バドミントン協会より派遣の予定			
審 判 員		※ 静岡県中学校バドミントン部員、静岡県バドミントン協会審判部			
審 判 補 助 員		※ 静岡県中学校バドミントン部員			
進 行		静岡東中	星陵中	常葉大学附属菊川中	富士宮四中
		樋口 惇一	河野 洋平	鬼束 佳奈	金山 泰輔
		静岡岡河内中	静岡大河内中	常葉大学附属橘中	静岡服織中
		片瀬 智未	鈴木 結花	小澤祐太	戸塚 智恵
		静岡清水小島中	静岡英和女学院中	静岡大里中	静岡玉川小中
		植田光樹	近藤 史生	川上 航	眞田 将希
		富士宮二中	附属静岡中	※参加クラブ役員	※参加クラブ役員
		濱田 悠介	小野 瑞歩		
記 録 ・ 賞 状		伊東南中	加藤学園暁秀中	静岡北中	※参加クラブ役員
		谷平 通	三宅華鈴	佐藤 浩一	
庶 務 ・ 会 計		静岡豊田中	伊藤門野中	静岡東中	※参加クラブ役員
		山下ひし乃	加藤祐子	深澤 聡	
会 場		富士宮井之頭中	熱海泉中	沼津浮島中	※参加クラブ役員
		岩渕 倫久	牟田かな子	石川晃啓	

救 護 員		富士宮支部養護教諭
-------	--	-----------

R7 相撲競技役員

役 名	職 名	
総務委員長	担当校長	村松 宏一
総務副委員長	県団体理事長	福里 紳太郎
	中体連担当理事	深澤 賢一
競技委員長	県部 長	松浦 みな美
競技副委員長		佐野 昌秀
審 判 長		飯塚 敏文
副 審 判 長		下村 勝彦 加藤 耕市 松本 真樹 佐野 恭治
		松野 圭介
記 録		佐野 昌秀 金森 優太
放 送 進 行		矢崎 正文 櫻井 輝
補 助 員		※富士宮北高校
救 護 員		富士宮支部養護教諭

R7 水泳競技競技役員

役 名	職 名	
大会委員長	担当校長	神尾 充浩
副 委 員 長	県水連理事長	杉山 勉
	中体連担当理事	萩原 慎
委 員		秋山 和廣 稲葉 徳行 加茂 育夫 清 浩幸
		栗田 仁 中村 信善 高村 昭寿 菊地 昌弘
		大澤 稔征 戸塚 雅晴 鈴木しのぶ 福井 秀和
		片山 英浩 和田 哲 綾部 亜弓 内藤 英樹
		平島 順子 精木 敦美 匂坂 真也 伊石 晋司
		杉山 康 白畑 文彦 望月 仁美 八木 哲宏
		森 博章 松田 真幸 西野 弘之 前田 和秀
		前嶋 慎也 芦川 陽介 清 渉 松本 元博
大会実行委員長	県部 長	前嶋 慎也
同 副 委 員 長	地区部 長	東部 中部 西部
		深辺 健斗 石黒 朝陽 桑原 大地
審 判 長		大澤 稔征
競 技 役 員		※（一社）静岡県水泳連盟競技役員 ※ 静岡県中学校体育連盟競技役員
救 護 員		看護師

R7 駅伝競技役員

役 名	職 名	
総務委員長	担当校長	伊藤 良典
総務副委員長	県陸協理事長	川口 雅司
総務委員	中体連担当理事	青嶋 翔太
競技委員長	県部 長	鈴木 達（菊川西）
競技副委員長	地区部 長	東部 中部 西部
		湯山喬史 柴 創太 藤森 淳
		（御殿場南） （榛原） （浜名）
救 護 員		小笠支部養護教諭

R7 テニス競技役員

役 名	職 名	
総務委員長	担当校長	小山 祥史
総務副委員長	県協会理事長	鈴木 敏文
	中体連担当理事	長谷川 佑樹
競技委員長	県部 長	山北 力
運 営 委 員		参加チーム顧問
救 護 員		静岡支部養護教諭

令和7年度静岡県中学校総合・東海総合・全国中学校体育大会出場枠

競 技 種 目			県 大 会										東 海 大 会			全 国 大 会		備 考				
			チーム構成						出 場 枠		予 選		各 県 出 場 枠		予選	東海ブロック出場枠						
			監督	コ ー チ	マネージャー	そ の 他	選 手	補 欠	団 体	個 人	東 海	全 国	団 体	個 人		全 国	団 体		個 人			
1	バレーボール	男女	1	校長・教員 部活動指導員	1 外 部 可	1 教職員・生徒		18 18		32 32			予選	予選	4 4			予選	3 3			
2	卓 球	男女	1	校長・教員 部活動指導員	アドバイザー1 外 部 可		6～10 6～10		32 32	128 128			部員数比例で支部へ 112名、シード枠決定 支部へ16名	予選	予選			4 4	16 16			予選
3	柔 道	男女	1	校長・教員 部活動指導員	1 外 部 可			5 3	4 以 内 2 以 内	24 24	168 168	各階級ごと24		予選	4 2	各階級4 各階級2		各 県 優勝校	各県優勝 各階級1名			
4	陸 上	男女	1	校長・教員 部活動指導員						18種 14種	各 種 目 39 + 記 録 突 破 者				予選						各種目6 各種目6	
5	バスケットボール	男女	1	校長・教員 部活動指導員	1 以 内 外 部 可	1 以 内 教職員・生徒	15 15		32 32				予選	予選		2 2			予選	3 3		
6	サ ッ カ ー		1	校長・教員 部活動指導員	1～2 外 部 可			20				32			予選	予選			2			予選
7	ハンドボール	男女	1	校長・教員 部活動指導員	3以内 (外部指導者(コーチ)の 場合は校長の承認書を提出)		各 15 以 内		制 限 な し			予選			予選	2 2			予選			3 3
8	ソフトボール	女	1	校長・教員 部活動指導員	1 外 部 可		引率者1 長・教職員・部指	18				16			予選	予選			2			予選
9	軟 式 野 球		1	校長・教員 部活動指導員	2 以 内 外 部 1 可		記 録 係 2 BBB 3	25		32					予選	予選	2					予選
10	ソフトテニス	男女	1	校長・教員 部活動指導員 個人戦+可	外 部 可		引率者 長・教職員・部指	4～8 4～8	32 32	128 128					予選	予選	4 4			8 8	予選	3 3
11	剣 道	男女	1	校長・教員 部活動指導員	外 部 可			5 5	2 2	32 32	64 64				予選	4 4	8 8		各 県 優勝校	県大会上位2名		
12	体 操	男女	1	校長・教員 部活動指導員	外 部 可			4 4	2 2		個人同一校2名 まで			予選		予選						2 2
	新 体 操	男女	1	校長・教員 部活動指導員	外 部 可 外 部 不 可			6 5	2 3							予選	予選	2	3		予選	4
		13	バドミントン	男女	1	校長・教員 部活動指導員	1 外 部 可		5～7 5～7		制 限 な し	単 3 9 ・ 複 3 9 単 5 4 ・ 複 5 4	予選				予選	2 2				単・複各4
14	相 撲	男	1	校長・教員 部活動指導員	外 部 可			3	2	制 限 な し	制 限 な し		予選	4	団体出場全員と、団 体出場を除く上位3 名		各 県 優勝校	各県上位3名				
15	水 泳	男女	1	校長・教員 部活動指導員						15種 15種				各種目18(800, 1500は除く)+標準 記録突破者						予選	個人種目4 リレー 6 (開催地枠+1)	
16	駅 伝	男女	1	校長・教員 部活動指導員			6 5	3 3	24 24			なし	予選					各 県 優勝校				
17	テ ニ ス	男女	1	校長・教員 部活動指導員			10 10		制 限 な し													

*令和7年度大会より、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、校長が適切であると承認した外部指導者(コーチ)に引率及び監督の資格を認める。